

連携

第65号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

コンプライアンス(compliance)

地域医療連携室顧問 副院長 佐藤 修一



新年おめでとうございます。年末年始は恙無くお過ごしだったでしょう

うか。この冬は例年より雪が多く、また寒く、その分栗駒山の稜線がきれいに見えるように感じます。月曜日仙台から病院に向かう途中でその凛とした姿が見えると、今日は何時まで新患がかかるのかなどというブルーな気持ちを吹き飛ばさなければと気合が入ります。

さて昨年は日本を代表する大企業の不祥事が目についた年だと思ひます。そこで上記のテーマを選びました。三省堂大辞林によると定義は以下の如くです。

①要求、命令などへの承認、追従。

②法令順守。特に、企業活動において社会規範に反することなく公正・公平に業務遂行することをいう。

③服薬順守。処方された薬剤を指示に従って服用すること。

④ひずみと応力の比で表される物質定数。弾性率の逆数。物体の変形のしやすさを表す。

我々に一番関係するのは、上記の②であることは言うまでもありません。これに関し胆に命じた事例を3例経験しました。

まず1例目です。40歳代でALT>50のC型肝炎の方をご紹介いただきました。DAAの最も適応となる症例と考え肝炎助成の手続きをとり開始したのですが、2週後の予約日に来院されませんでした。私、看護師、医事課職員が電話をしても多忙にて来院不可の返事、その後繰り返し電話をしても出ず、留守電のメッセージも無視されました。薬剤費だけで数百万円を要する治療です。私自身のインフォームドコンセントが甘かったのかもしれませんが、患者

さんの病気への姿勢をより注意深く確認すべきであったと反省しています。

2,3例目は出血性胃潰瘍の患者さん方です。消化管出血で紹介いただき内視鏡下に止血、退院後のPPIの継続投与をお願いした方々です。1か月後のフォローのGTFを施行したところ明らかに悪化していました。まさかとは思ひ薬手帳を確認しましたら2例ともPPIの処方はありませんでした。患者さんへの説明、紹介文の未熟さが原因であったのだろうと深く反省しています。未熟な点はご遠慮なくご指摘いただければ幸いです。

昨年新聞、TVなどを賑わせたのが上記の②でした。確かに法令順守は当然ですが、不必要な決まりもあったのではないのでしょうか。一例をあげますと自動車メーカーの完成車検査です。国内販売車は必要で、輸出車は不要というのは矛盾の極りだと思ひます。一方、M学園やK学園の官僚の答弁や文書廃棄はコンプライアンスを忠実に守ったのだと思ひます。それでなければ栄転はなかったはずで、地域連携の仕事はコンプライアンスを遵守するのは当然ですが、そこには思いやりがこめられてなければいけません。規則を作るのはメジャーなことであり、個々のケースを扱うのはマイナーなことかもしれません。しかし、神は細部に宿るといふ諺もあります。細かい問題が一時的に政権を揺るがせた時期もありました。

今年は今まで以上に細かい点にも気を配り、上記④の定義の如く応用を効かせて連携室一同仕事に励んで参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

— 新規職員紹介 —

平成 30 年 1 月 1 日付け採用



内科医員 伊藤 俊介（専門：内科）

内科一般、呼吸器疾患の診療に対応しています。
出身地の栗原市で地域の皆様のお役に立てますよう、
努力して参りますのでよろしくお願い致します。



学会・研修会・論文発表



☆第 44 回日本肩関節学会 2017.10.6-8 — 東京都 —

『肩関節脱臼骨折に対する鏡視下手術例と直視下手術切替例の相違点』

…永元 英明

『[PT-O-073] 胸郭出口症候群関連所見と肩関節機能および胸椎可動性との関係』

…堀 雅隆¹, 村木 孝行^{1,2}, 関口 雄介^{1,2}, 石川 博明^{1,2}, 本田 啓太^{1,2}, 矢口 春木^{1,2}, 守屋 秀一³,
永元 英明⁴, 黒川 大介³, 出江 紳一¹

(1.東北大学大学院医学系研究科 肢体不自由学教室, 2.東北大学病院, 3.東北労災病院, 4.栗原中央病院)

☆第 55 回日本糖尿病学会東北地方会 2017.11.11 — 仙台市 —

『精神・神経疾患が疑われ、中枢性無呼吸症候群と判明したコントロール不良の 2 型糖尿病』

…木田真美, 吉越仁美, 佐藤修一, 小泉 勝

『ELISA 法 GAD 抗体価が異常高値を示した 6 例の臨床的特徴に関する検討』

…吉越仁美, 小泉 勝, 佐藤修一, 木田真美, 小西秀知, 鈴木慎二(まるき内科クリニック)

☆第 28 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 2017.11.18-19 — 東京都 —

『J リーグ下部組織に所属する選手の足関節捻挫既往と Star Excursion Balance Test との関係の検討』

…永元英明^{1,2}, 矢口春木³, 富川圭太², 金野治郎⁴, 黒川大介⁵, 畠 英里⁶, 主藤弘太郎⁶, 阿部允哉⁶,
小梨 優⁶

1 栗原市立栗原中央病院 整形外科 2 ヘガルタ仙台 3 東北大学病院 診療技術部 リハビリテーション部門 4 きんの鍼灸院 5 東北労災病院 スポーツ整形外科

6 栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科

『高校サッカー選手における疼痛部位と身体機能の関連性についての検討』

…主藤弘太郎¹, 畠 英里¹, 阿部允哉¹, 小梨 優¹, 永元英明²

1 栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科 2 栗原市立栗原中央病院 整形外科

『腰椎分離症の身体所見および骨折型とオーバーヘッド競技の関連について』

…小梨 優¹, 阿部允哉¹, 永元英明² 1 栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科 2 栗原市立栗原中央病院 整形外科

『10 歳男児の第 5 腰椎分離すべり症に対する運動療法により競技復帰した一例：続報』

…阿部 允哉¹, 畠 英里¹, 永元英明² 1 栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科 2 栗原市立栗原中央病院 整形外科

『剣道における「踏み込み足」と「送り足」の足部障害発生要因の検討』

…畠 英里¹, 阿部允哉¹, 永元英明² 1 栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科 2 栗原市立栗原中央病院 整形外科

☆日本心臓リハビリテーション学会第 2 回東北支部地方会 2017.12.3 — 仙台市 —

『心臓リハビリテーション立ち上げの取り組みと今後の課題』

…太田浩貴¹, 荒井 豊¹, 伊藤大亮², 主藤弘太郎¹, 尾形 剛³, 矢作浩一³

1 栗原市立栗原中央病院リハビリテーション科, 2 東北大学病院総合地域教育支援部, 栗原市立栗原中央病院循環器内科



☆第 10 回 MR 医療安全セミナー

『MRI 検査で事故を起こさないための基礎知識と対策』 2017.12.3 — 東京都 —

『貼付剤の対応と注意点』

…吉田 礼

がん緩和ケア研修会

「終末期を迎える患者との関わり～スピリチュアルケアの視点から～」

講師 栗原市普門寺副住職 臨床宗教師 高橋悦堂 氏

昨年12月15日、臨床宗教師 高橋悦堂氏をお招きし、「終末期を迎える患者との関わり～スピリチュアルケアの視点から～」というテーマで講演会を開催しました。71名（院内66名、院外5名）の参加者があり、終了後のアンケートでは、「とても勉強になり、考えさせられる内容であった。」「宗教的な考え方が面白かった。」「患者様の発する言葉や表情を大切にしたいと思う。」など様々な意見が寄せられました。



スピリチュアルケアを学ぶと看護が変わる、看護の質が高まると言われていますが、この講演の中で、精神的ペイン（苦痛）とは通常は生じないはずの状態（＝症状）であり、「病気」であるが、スピリチュアルペインは生じて当然の状態であり、「病気」ではないと言われています。つまり、病気に関しては治療や症状を緩和する対応が望まれますが、スピリチュアルペインは、苦しみ、悩みに共感し、寄り添う対応が望まれます。まさに私たち医療者が最も必要とする対応であり、患者様が私たち医療者に一番

に求めるものだと言われました。

スピリチュアルペインは人それぞれ違うため、どのようなものを把握するのは難しいですが、特別肩に力を入れて関わる必要はなく、患者様への関わり方の断定も特になく、ただ、ただ患者様に寄り添えば良いのです。苦しみを否定せず関わっていきこう。そうすることで何かが見えてくるはずだと分かりました。それからもう一つ、患者様との会話から、どうしても奥深く入り込んでしまっていることに気づき、どうすることも出来なくていつも悩んでいる自分がいました。しかし、相手から受け取った苦しみを手放しても良い、ということを知り、気持ちが楽になりました。セルフケアは何もしないのもセルフケアである、ということに気づかされ、今までの看護を振り返る良い研修会だったと感じました。

看護部緩和ケア委員長 看護師長 佐藤美和



パステルアートにチャレンジ♪ サロンdeよらいん



当院では毎月第2火曜日（13：30～15：00）にがんサロン「サロンdeよらいん」を開いています。がん療養中の方やご家族・がん体験者が集まり、お茶を飲みながらお互いの体験や気持ちを語り合ったりしています。

昨年、12月12日（火）に開かれた「サロンdeよらいん」は、体験サロンとしてパステルアートを行いました。参加者のほとんどがパステルアート初挑戦ということもあり、初めは苦戦する声も多く聞かれましたが、作品枚数を

重ねるごとに思い思いの素敵な作品が完成していったようです。また制作後の茶話会ではそれぞれの作品を見ながら歓談し、和やかな時間を過ごしました。淡い色合いの作品は参加した皆さんの心を優しく包んでくれました。

今回は「クリスマスツリー・日の出」をテーマに作成していましたが、次回は初心者はもちろん更にレベルアップしたテーマで開催したいと思います。お楽しみに！！



《各種研修会報告》

☆糖尿病患者友の会（薬師の会）研修会

日時：平成 29 年 10 月 15 日（日）

日本糖尿病協会宮城県支部開催の仙台台原森林公園で行われるウォークラリーに参加しました。当院患者会は、2 チーム（1 チーム 9 名）参加し、約 1 時間 30 分歩きながら 8 か所のチェックポイントを探しクイズを解きながら楽しく歩きました。みんなで助け合いながらゴールをめざし結果は、1 位と 2 位で過去最高の成績でした。会員からまた来年も参加要望あり継続していきたいと思います。



日時：平成 29 年 11 月 19 日（日）

川渡温泉にて、ヨガ（体を動かす）・食事（野菜をおいしく食べよう）・温泉（リラックス）を体験してきました。参加者は 18 名。この日は、初雪が降ってとても寒い日となりましたが、室内での研修でさらにヨガで体を動かし寒さを感じない研修会となりました。

☆連携のつどい “よらいん”



日時：平成 29 年 10 月 5 日（木）午後 6 時 30 分～

講師：感染管理室 副室長 感染管理認定看護師 上野賀子

演題：『冬に流行する病気について知り、感染を予防しよう』

インフルエンザ・ノロウイルスについて講話いただき、グループワークを実施しました。院内外より 88 名の参加があり、病院、施設、在宅支援などそれぞれの立場から、感染管理・予防策の大切さを学ぶことができました。



☆診療報酬研修会



日時：平成 29 年 10 月 18 日（水）午後 5 時 30 分～

講師：株式会社ニチイ学館 医療関連事業本部

事業推進部 事業推進課 係長 門馬玉江 先生

演題：『指導料及び加算取得に向けて』

119 名の職員が参加し、主な医学管理料のポイントなど、算定率向上に向けた研修を受けました。



お知らせ

栗原市立栗原中央病院 市民コンサート

やなせなな コンサート&トーク
～支えあい 輝くいのち～

日時：平成30年2月23日（金）18:00開演

会場：栗原市立栗原中央病院 外来待合ロビー

申込不要 入場無料



- 編集後記 -

あけましておめでとうございます。新年の目標！色々考えた結果、やっぱり“健康でいる事”でした。心も体も元気でいれば何でも頑張れるような気がしますからね。今年もどうぞよろしくお願い致します。

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院（代表）TEL：0228-21-5330 FAX：0228-21-5350

<http://www.kurihara-central-hp.jp/>

地域医療連携室（直通）TEL：0228-21-5335 FAX：0228-21-5336